

令和5年度障がい者総合支援協議会 専門部会報告

【相談支援部会】

月日	協議事項
R5.4.27	令和5年度の相談支援部会について(年間計画) ・研修や勉強会の内容について
R5.5.25	グループワーク 「相談支援専門員ってなに？」地域に知ってもらうための方法について
R5.6.22	事例検討①「50代息子(Aさん)と80代母親の満足いく生活について」 グリーンヒルズ若草病院提供 ※就労支援部会長出席
R5.7.27	勉強会「災害について考えよう」 講義「相談支援専門員としての防災」、講師 氷見市社会福祉協議会 向井由美子氏 グループワーク「相談支援専門員としての災害の想定について」 「BCP(業務継続計画)について」 相談支援事業所はやぶさ 浅谷敬太氏
R5.8.24	事例検討②「本当は友達と勉強したり遊んだりしたい。」～発達障がい児と家族への支援～ ふらっと提供 ※子ども部会長出席
R5.9.28	事例検討③「重度訪問介護の利用開始まで、かなりの時間がかかる。本人は在宅復帰を待てない場合、どのように支援をしたら良いのか」 輝星提供
R5.10.26	福祉バスを利用しての施設見学会及び相談支援専門員についてプレゼンテーション 見学先:いみず苑、プラスワン
R5.11.22	10月の施設見学会の振り返りと来年に向けての検討 実施後のアンケート、グループワーク「実施の成果と次年度に向けての課題」
R5.12.21	事例検討の振り返りと事例から見える地域課題の抽出 事例提供者から検討後の動向、気づきや成果など グループワーク「地域課題の抽出」 ※専門部会長出席
R6.1.25	高齢・障害分野合同事例検討会 「重層的支援体制について」
R6.2.22	研修会:当事者の声を聴く 9月の事例の当事者・家族から
R6.3.21	今年度の活動から見えてきた地域課題の抽出について 令和5年度の地域課題をグループワークのなかで絞り込みをし、令和6年度の取り組みを考える

◎令和5年度 活動報告

- ・事例検討は3回実施。今年度もストレングスアセスメントを用いて、グループワーク形式で行った。部会間の連携を目的として関連性のある事例、及び振り返りをする際に各専門部会長にも出席頂いた。実施した事例検討を通して、障害者・児本人の支援だけではなく、家族ぐるみの支援が必要な家庭が多くなっていること、多職種の連携や支援が必要であることが認識できた。
- ・勉強会は災害について、氷見市社協の向井氏より相談支援専門員としての防災についての講義を受けた。その後、相談支援専門員としての災害想定についてグループワークと令和6年4月に策定義務となるBCPについて、「はやぶさ」浅谷氏より説明があった。元日の地震からは災害発生時の対応が課題として浮かび上がった。
- ・令和5年度は相談支援専門員の周知とモチベーションの低下について、部会の中で取り組んでいくことを方針としていた。その取り組みの一つとして社協の福祉バスを利用して、いみず苑とプラスワンを見学会を実施した。見学先で相談支援専門員のプレゼンテーションを行い、プラスワンでは事業所の計らいで職員との座談会の機会を得られた。地域への周知をさらに広げていくことが課題。
- ・1月は重層的支援体制について、高齢・障害分野の合同事例検討会を定例会の中で行い、重層的支援の目的や流れの説明が地域福祉課からなされた。他機関との連携の際に生じる疑問や困り事などが質問として挙げられ、回答を得られていた。部会内では関係期間・重層的支援体制での連携力が課題との声が上がった。
- ・2月は9月の事例で提供された当事者の話を直接聴くことができた。常時の医療的ケアが必要な重度の身体障がい者の方だったが、Zoomを使用し、オンラインでのやり取りができたことの意義は大きかったと思われる。当事者の声を聞く場・機会の継続的な創出が課題。
- ・年度末はグループワークの中で、令和5年度の活動から見えた地域課題の抽出を行った。

◎今年度の取り組み予定

- ・今年度もストレングスアセスメント票での事例検討・振り返りを行い、地域課題の抽出を行って行く。
- 事例検討の際には、事例に関連する専門部会の部会長に出席を依頼し、課題の共有を図る。勉強会・研修会も予定している。
- ・相談支援専門員と相談支援従事者の連携強化と業務意欲の維持・向上については、今年度も引き続き取り組んでいく。
- さらに民生児童委員との交流も図っていく。
- ・毎年行ってきた防災についての研修・勉強会を今年度も行う。発災時の状況を、さらに具体的に理解できるような内容とした。

令和5年度 射水市障がい者総合支援協議会 相談支援部会名簿

	所属機関	備考
1	高岡厚生センター射水支所	
2	高岡支援学校	
3	こまどり支援学校	
4	高岡障害者就業・生活支援センター	
5	射水市社会福祉協議会	
6	ふらっと	
7	つと	
8	むげん	
9	あいネットいみず	
10	片ロサポートセンターわが家	
11	チャレンジャー	
12	COCORO SUPPORT	
13	太閤の杜相談支援事業所	
14	輝星	
15	相談支援事業所あんど	
16	シビックプライド新湊相談支援事業所	
17	相談支援事業所はやぶさ	
18	グリーンヒルズ若草病院	
19	太閤山病院	
20	射水市社会福祉課	

【令和5年度子ども部会】

◎第1回

日 時	令和5年7月10日(月)	10:00~12:00
場 所	射水市役所 303会議室	
内 容		
議題		
(1)意見交換	医ケア児等の支援の現状について	
(2)講義	「医ケア児の災害時個別支援計画の立案の実際」	
	講師:高岡厚生センター射水支所 地域健康課 米田保健師、小前保健師	

◎第2回

日 時	令和5年9月8日(金)	10:00~12:00
場 所	射水市役所 302・303・304会議室	
内 容		
議題		
(1)講義	障がい児の不登校について 講師:富山国際大学 村上 満 教授(スクールソーシャルワーカー)	

◎第3回

日時	令和5年12月6日(水)	10:00~12:00
場所	射水市役所 401会議室	
内容		
議題		
(1)当事者の声	「小児がん支援活動を通して」	
(2)グループワーク	「医療的ケア児等コーディネーターとしてできること」	

◎第4回

日 時	令和6年2月21日(水)	10:00～12:00
場 所	射水市役所 401会議室	
内 容		
議題		
(1)R5年度射水市障がい者総合支援協議会子ども部会報告		
(2)射水市放課後等デイサービスワーキンググループからの報告		
(3)活動報告 「居場所支援について」		
一般社団法人ガチョック 社会福祉士・精神保健福祉士 澤田 啓輔		
(4)令和6年度子ども部会協議事項について		

◎活動報告

- ・第1回は、医ケア児コーディネーターが集まり、現状について意見交換を行うことで顔の見える関係性を構築するとともに、本市の課題について整理することができた。また、災害時個別支援計画についての理解が深まった。
- ・第2回は、不登校児支援に携わるスクールソーシャルワーカーからの講義を受け、合理的配慮や思春期心性(思春期の心の特徴)、ASD(自閉症スペクトラム症)との関連について理解を深めることができた。
- ・第3回は、医ケア児の当事者の声として、地域に必要な社会資源や医ケア児コーディネーターに求めること等について報告を受け、コーディネーターとしての役割について考える機会となった。
- ・第4回は、不登校児に対する居場所の活動内容や効果等について各支援団体から報告を受け、障がい児福祉サービスとの連携について協議を深める場となった。

◎次年度の取組予定

- ・富山病院の施設見学を行い、病院における児童の医療・福祉・教育について理解を深める。
- ・医療的ケア児の当事者の声を座談会形式でお聞きし、現状の把握と必要な体制整備の協議を進める。
- ・医療的ケア児等コーディネーターで作成した災害時個別支援計画について共有し、災害時の支援体制について協議する。
- ・不登校児への支援について関係団体からの話を聴き、居場所支援や障がい児福祉サービスとの連携を図る。

令和5年度 射水市障がい者総合支援協議会 子ども部会 名簿

	所属機関	備考
1	高岡児童相談所	
2	高岡厚生センター射水支所	第1回講師
3	高岡市きずな子ども発達支援センター	
4	射水市民生児童委員協議会	
5	一般社団法人Ponteとやま	
6	(独)国立病院機構富山病院	
7	真生会富山病院	
8	富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」	
9	富山県医療的ケア児等支援センター	
10	子どもの権利支援センター「ぱれっと」	
11	一般社団法人ガチョック	第4回講師
12	射水市社会福祉協議会	
13	富山県立高岡支援学校	
14	高岡市立こまどり支援学校	
15	射水市立大門中学校	
16	あいネットいみず	事務局
17	ふらっと	部会長
18	チャレンジャー	
19	輝星	
20	COCORO SUPPORT	
21	特定非営利法人むげん	
22	シビックプライド新湊相談支援事業所	
23	太閤の杜相談支援事業所	
24	相談支援事業所はやぶさ	
25	おはな	
26	くるみの森	
27	射水市保健センター	
28	射水市子育て支援課	
29	射水市教育委員会 学校教育課	
30	射水市教育委員会 教育センター	
31	射水市教育委員会 生涯学習・スポーツ課	
32	射水市社会福祉課	

※市内放課後等デイサービス事業所(12か所)はオブザーバーとしてオンライン参加あり

【就労支援部会】

◎第1回

日 時	令和6年2月8日(木)14時～
場 所	射水市役所大島庁舎 大会議室(後日オンライン配信)
内 容	
1 開 会	
2 部会長挨拶	
3 議 題	
	(1) 令和4年度の就労状況及び活動について
	① 雇用状況について(ハローワーク高岡、高岡障害者就業・生活支援センター)
	② 進路希望の状況について(高岡支援学校、高岡高等支援学校)
	③ 就労活動の報告について(就労継続支援事業所)
	(2)使ってみよう「就労支援のためのアセスメントシート」
	富山障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 井上 満佐美氏
	・意見交換会
	・まとめ
4 閉 会	

◎活動報告

・新しい障害福祉サービスがスタートし、令和7年10月以降就労継続支援B型を直接利用される場合に原則必要となるアセスメントシートの作成の仕方について、講義を聞いてグループワークを行って理解を深めた。
→現時点では事業所によって制度の理解度にばらつきがあり、さらにアセスメントについて知識を深める必要があることが分かった

・射水市就労支援部会ガイドブックの作成

→市内の事業所(10か所)の概要をまとめ一般に広く見てもらうために市役所HPに掲載した。印刷したものは配布せず各自で印刷していただくよう関係各所に案内した。

◎次年度の取組予定

・大目標「地域の障害者が就労に結びつく、地域づくり」

・中目標「就労継続支援A型、B型のサービス充実」

「一般就労に結び付ける取り組み」

「当事者へのアプローチ」

・当事者の思いを中心に射水市の就労の課題を整理していく予定

令和5年度 射水市障がい者総合支援協議会 就労支援部会名簿

	所属機関	備考
1	高岡公共職業安定所(ハローワーク高岡)	
2	高岡障害者就業・生活支援センター	
3	高岡厚生センター射水支所	
4	射水商工会議所	
5	射水市商工会	
6	富山県立高岡支援学校	
7	富山県立高岡高等支援学校	
8	グリーンヒルズ若草病院	
9	太閤山病院	
10	ほまれの家小杉	
11	Self-A ハニービー小杉東	
12	いみず苑 はばたき	
13	ワークホーム悠々(つとひ)	
14	ワークプラザここから(むげん)	部会長
15	えみふる	
16	ジョブステーションさくら北部事業所	
17	ガチョック	
18	シビックプライド新湊	
19	る・ふっくらん	
20	ふらっと	
21	射水市商工企業立地課	
22	射水市社会福祉課	
23	あいネットいみず	

【サービス事業者部会】

日 時	令和6年3月13日(水)	13:30~15:15
場 所	市役所大島庁舎3階 大会議室	
内 容		
1 開会		
2 部会長挨拶		
3 事例報告		
(1)『サービス事業所部会長(通所系)「能登地震の経験から」』 特定非営利活動法人むげん 理事長 門田 晋 氏		
(2)『R6.1.1能登半島地震に係るいみず苑入所利用者への対応』 社会福祉法人射水福社会 いみず苑施設長 稲垣 宏 氏		
4.参加事業所意見交換		
5 その他		

◎活動報告

元旦の令和6年能登半島地震を受け、発災直後の体験やその後の環境変化について、市内の通所施設と入所施設の管理者に事例報告を行ってもらい、サービス事業者が災害時に障がい者にどのように寄り添い、支えていくべきかについて、ともに考える機会とした。

- ・休日に災害が発生した際の施設利用者の安否確認や職員との連絡・連携
- ・福祉避難所に関する知識・情報の共有
- ・BCPの見直し などの共通課題を確認することにつながった。

◎次年度の取組予定

本部会は、障がい者（児）福祉、高齢者福祉、医療など多種多様な分野の部会員で構成されていることから、様々な立場からの意見が部会運営が反映できるよう、運営体制の見直しを行い、組織強化を図る。

部会員各々が「地域の中の施設」として役割を果たすことができるよう、立場の弱い方にとっての安全・安心な居場所づくり、地域の中の支援者（町内会や民生委員など）との連携などについて学習・検討する機会を設ける。

令和5年度 射水市障がい者総合支援協議会 サービス事業者部会 参加者名簿

	所属機関	第1回	備考
1	いみず苑 ひびき愛	○	
2	特別養護老人ホーム 太閤の杜	○	
3	地域生活支援・交流ハウスふらっと	○	
4	えみふる	○	
5	ワークホーム悠々	○	
6	あいネットいみず	○	事務局
7	チャレンジャー	○	
8	グループホーム結	○	
9	むげん	○	部会長